

2010 年10月18 日

基礎水理シンポジウム開催のご案内

基礎水理部会長
藤田 一郎

土木学会水工学委員会の下に組織されております「基礎水理部会」では、その活動の一環として、2007年度より標記のシンポジウムを開催しています。このシンポジウムは、基礎水理に関わる数多くのテーマの中から毎年二つを選び、これに関わる講演と中身の濃い議論とを通じて、該当するテーマに関する本質的な部分についての理解を深めるとともに、未だ残されている研究テーマや問題点について再確認することを目指しています。また、若手研究者や大学院生の参加を歓迎し、次代を担う人たちが各テーマに関わる研究のおもしろさ、現状あるいは今後に向けての展望、などを伝えていくことも目的のひとつとしています。そこで、このシンポジウムに出席することで刺激を受け、新たにこの分野の研究に参画する機会になればとも願っております。このシンポジウムの運営については基礎水理部会で行いますが、部会のメンバー以外の多くの方々の参加を期待しています。お誘い合わせの上、会場にお集まり下さいますようお願い申し上げます。

記

日時：2010 年12月6日(月) 9:30-16:30

場所：土木学会講堂（東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）

参加費：無料

プログラム

- | | |
|---------------|-------------------------------------|
| 9:30 ~ 9:35 | 開会の挨拶 |
| | 第一部 「河床形態」 |
| 9:35 ~ 10:35 | 特別講演 黒木幹男先生
「河床変動研究からみえた川の姿」 |
| 10:35 ~ 11:20 | 泉典洋（北海道大学）
「小・中規模河床形態の線形・非線形安定性」 |
| 11:20 ~ 11:30 | 休憩 |
| 11:30 ~ 12:15 | 藤田裕一郎（岐阜大学）
「安定河道の流路幅について」 |
| 12:15 ~ 12:30 | 総合討議 |
| 12:30 ~ 13:30 | 昼休み |

第二部「流れの計測」

- 13:30 ～ 14:30 特別講演 禰津家久先生（京都大学）
「開水路乱流研究の進歩と今後の課題」
- 14:30 ～ 15:15 羽田野袈裟義（山口大学）
「運動量の定理に基づく堰実験データの再整理」
- 15:15 ～15:25 休憩
- 15:25 ～16:10 高橋正行（日本大学）
「空気混入流の水理特性とその計測法 ～階段状水路を例として～」
- 16:10 ～ 16:25 総合討議
- 16:25 ～ 16:30 閉会の挨拶

以上